

ひょうご五国撮り旅

第7回 摂津 6月18、25日

プロが写真術手ほどき

兵庫県内を巡る日帰り撮影バスツアー「ひょうご五国撮り旅 第7回摂津編」を6月18日、25日に実施します。今回のテーマは「400年ぶりに蘇る尼崎城と華麗でモダンな旧甲子園ホテル」。3月に再建され、オープンした「尼崎城」は大人も童心に帰って楽しめます。阪神間モダニズムを代表する「旧甲子園ホテル」(武庫川女子大学甲子園会館)は米国人建築家フランク・L・ライトのまな弟子、遠藤新が高級リゾートホテルとして設計しました。和風な打ち出の小づちや水滴をデザインに取り入れた洋館は、どこにレンズを向けても「絵になる」美しさです。昼食もライトの影響を受けたネオ・ルネサンス様式のフレンチレストランで楽しめます。

同ツアーはミントクラブと神戸新聞旅行社が合同で開催する通年企画。毎回、神戸新聞社のカメラマンを講師に迎えた撮影旅行です。大坂夏の陣で豊臣家を滅ぼした徳川幕府が西国支配の守りの拠点として、譜代大名戸田氏鉄に命じて築城させたのが尼崎城。阪神間で唯一の城下町として栄え、約2万人が暮らしていました。尼崎藩の領地は広く、阪神地方から神戸市須磨区のあたりまでを治める摂津の中心地でした。

武庫川女子大学甲子園会館の名称で、生涯学習施設としても親しまれている「旧甲子園ホテル」。1930年に完成し、「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテル」と並び称され、皇族や政財界人らの社交場としてにぎわいました。第2次世界大戦の激化により、44年に海軍病院として収用、終戦後は米軍将校の宿舎などに使われていました。65年に同大学が教育施設として再生し、現在に至ります。ホテルとしては短命でしたが、多くの人々の学びやとして愛されてきました。2009年、国の有形文化財に登録されています。昼食は芦屋市のレストラン「芦屋モノリス」でフランス料理を味わいます。「旧通信省芦屋別館」として建てられ、05年に外観を生かしてレストラン兼婚礼施設として再生。この建物も17年、国の有形文化財に登録されました。

実施日

2019年6月18日(火)、25日(火)

旅程

姫路発(7時半)、神戸発(8時40分)
→尼崎城・歴史的な趣のある寺町・尼崎商店街を散策
→昼食「芦屋モノリス」
→旧甲子園ホテル。案内付きで見学。
→神戸酒心館
試飲・酒造りのビデオ鑑賞・お買い物
→神戸着(17時)、姫路18時
*帰着は予定時刻であり、交通状況により前後する場合があります。ご了承ください。

旅行代金

8980円(大人ひとりさま)
*ミントクラブ会員は当日、車中で会員証を提示すると200円のキャッシュバックがあります。

受け付け・問い合わせ

神戸新聞旅行社
☎078・362・7174
9時半～17時(日・祝休み)
9時半～13時(土)

一見して「小さい」とがっかりすることなかれ。中に入ると面白さ満載の「おもちゃ箱」。それが尼崎城なのです。石垣を含む高さ24・39m。外観は四重天守ですが、鉄筋コンクリート造りで内部は地上5階建てです。

面白さ満載「おもちゃ箱」

尼崎城

展望スペースの5階からは山と海に挟まれた市街地を見渡せます。各窓には江戸時代の風景を再現するタレット端末モニターが設置され、左右に動かして昔の城下町を見下ろすことができます。殿様気分が現在の町並みと比較してみるのが楽しいでしょう。



武将や姫君、忍者の衣装も楽しめる尼崎城「なりきり体験ゾーン」

静けさ包む趣深い建築群

尼崎寺町

尼崎というのにぎやかな雰囲気をイメージしがちですが、寺町は静かな空気に包まれています。江戸時代初期、付近にあった寺院を集めて形成された町並みです。

建築物の外観や屋根瓦の造形が趣深く、カメラを向けたままシャッターを切るのも忘れて、見入ってしまうそうです。通りにある「たこ焼き屋」には子ども用の割引価格も。下町の人情を感じられます。

さらに進んで三和本通商店街、中央商店街に入ると違って変わって活気にあふれ、多くの買い物客が行き交います。個性的で魅力たっぷりな店が並び、どこをのぞいても楽しくなります。



11の寺院が立ち並ぶ寺町では、面白い意匠を発見できる＝尼崎市内

フレンチレストラン「芦屋モノリス」

五感で味わう初夏

昼食は、芦屋市にあるフレンチレストラン「芦屋モノリス」でランチコースを用意しています。季節感を大切に料理で人気のお店。メインディッシュは魚ですが、料理の内容は当日のお楽しみです。

重厚な外観ですが、東洋的ムードとアールデコスタイルが融合した華やかな建築です。1階の回廊は大きな半円の窓から光が差し込み、ゆったりした時間が流れます。

2012年のノーベル賞晩さん会で振る舞われた「福寿 純米吟醸酒」の試飲や買物ができる「神戸酒心館」にも立ち寄ります。



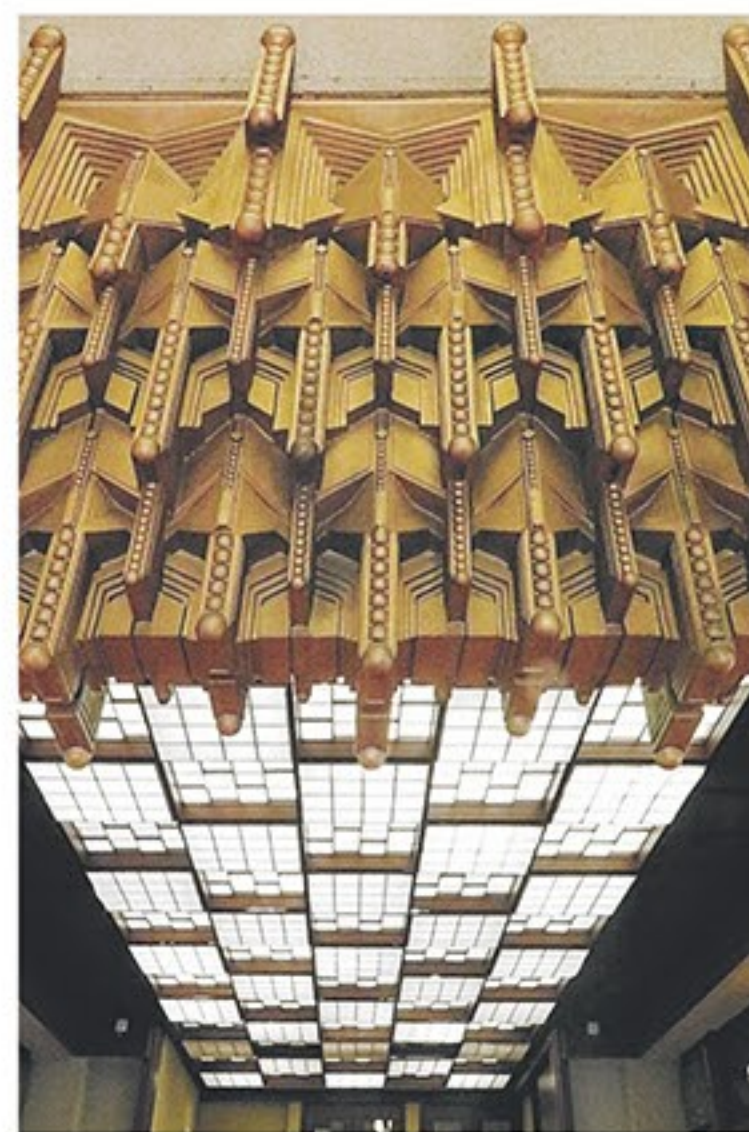
魚をメインディッシュにしたフレンチランチコース。当日は初夏をイメージしたメニューで芦屋市大槻町「芦屋モノリス」

左右対称にそびえる二つの塔が印象的です。外壁を覆う素焼きタイルの淡い褐色とさまざまな模様は引いて撮るか、クローズアップするか。どこにレンズを向けても、その建築美に圧倒されるでしょう。

圧倒的な建築美

井が市松格子になっていて、下がり壁の装飾も迫力満点です。現在は武庫川女子大学甲子園会館として利用されていますが、NHK連続テレビ小説「まんぷく」では主人公の福子が勤める「大阪東洋ホテル」として登場し、注目を集めています。

旧甲子園ホテル



市松格子の光天井と打ち出の小づちからしたたる水玉をデザインした下がり壁が美しい1階西ホール＝西宮市戸崎町

ノーベル賞の公式行事で提供されるなど、海外のソムリエからも高く評価される「福寿 純米吟醸」の試飲や買物を楽しめる神戸酒心館。神戸市東灘区御影家町1



世界に知られる酒

「神戸酒心館」

青空に映える尼崎城。新しいランドマーク、歴史観光拠点として注目を集める＝尼崎市北城内